【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【公表番号】特表2008-501642(P2008-501642A)
【公表日】平成20年1月24日(2008.1.24)
【年通号数】公開・登録公報2008-003
【出願番号】特願2007-509950(P2007-509950)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｋ　7/08　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　1/305　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｋ　7/08　ＺＮＡ
Ａ２３Ｌ　1/305
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｐ　7/00
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　37/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１０５

【手続補正書】
【提出日】平成20年12月4日(2008.12.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
配列番号２４のアミノ酸配列よりなる実質的に純粋なペプチド。
【請求項２】
配列番号２４のアミノ酸配列よりなる実質的に純粋なペプチドを含む医薬組成物。
【請求項３】
該ペプチドの投与の効果が細胞増殖の抑制、腫瘍成長の抑制、および免疫系の変調よりなる群から選択される効果を含む請求項２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
該細胞増殖がイン・ビボでの肉腫細胞の発生である請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項５】
免疫系の該変調がイン・ビボでのＴ－リンパ球形質転換、イン・ビトロにおけるＣｏｎＡによるＴ－リンパ球形質転換、およびＮＫ細胞増強よりなる群から選択される変調である請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項６】
配列番号２４のアミノ酸配列よりなるペプチドを供し、次いで、該ペプチドを医薬上許

容される担体と混合することを含む、医薬組成物の製法。
【請求項７】
ヒト病気の効果を低下させるための医薬組成物の製造における配列番号２４のアミノ酸配列よりなる実質的に純粋なペプチドの使用。
【請求項８】
該ヒト病気は細胞増殖性障害および免疫学的障害よりなる群から選択される状態である、請求項７に記載の実質的に純粋なペプチドの使用。
【請求項９】
該細胞増殖性障害が癌、肉腫および腫瘍よりなる群から選択される状態である、請求項８に記載の実質的に純粋なペプチドの使用。
【請求項１０】
免疫系の変調のための医薬組成物の製造における配列番号２４のアミノ酸配列よりなる実質的に純粋なペプチドの使用。
【請求項１１】
該変調がイン・ビボでのＴ－リンパ球形質転換、イン・ビトロにおけるＣｏｎＡによるＴ－リンパ球形質転換、およびＮＫ細胞増強よりなる群から選択される、請求項１０に記載の実質的に純粋なペプチドの使用。
【請求項１２】
実質的に純粋なペプチドの栄養補給物としての使用であって、該ペプチドは配列番号２４のアミノ酸配列よりなる、該使用。
【請求項１３】
配列番号２４のアミノ酸配列よりなるペプチドの増強された誘導体を含む分子であって、該増強された誘導体は該ペプチドに操作可能に連結された増強分子を含み、該増強分子は該ペプチドの治療的有効性を増強させることを特徴とする該分子。